

E.FORUM 教員会員の皆様へ



京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター主催
2025年度 E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修

「第21回 実践交流会」のお知らせ

E.FORUM では、研修内容を活かした実践や研究開発に取り組んでおられる教員会員の方々にお集まりいただき、お互いの経験や計画を交流しながら新しい知見を生み出すことをめざしています。本実践交流会では、教員会員の皆さまの各種実践資料（実践の成果や計画に関するもの）をお持ちよりいただき、グループに分かれて交流していただきます。また、午後には、開発中のデジタル・ポートフォリオの意義と課題について、実証校4校の代表生徒とともに検討するパネルディスカッションも開催いたします。

皆様、どうぞ奮ってご参加ください！

日 程：2026年3月22日（日）

10:00～13:00 / 14:00～16:00

対 象：E.FORUM 会員 30名程度

会 場：京都大学本部構内 総合研究2号館 第1講義室ほか

お弁当代：1,000円

（ご希望の方のみ。体調不良の場合を除き、お弁当のキャンセルはご遠慮ください。）

お申込み：右上のQRコード、または下記のお申込みフォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/GDv82gjIvip8wu9d7>

【申込締切】3月2日（月） 但し、定員になり次第、締め切ります。

備 考：参加者の皆さまには、現在取り組んでおられる実践についての簡単な資料をご用意いただきます（他で発表された資料でも構いません）。詳細は次頁をご確認ください。

※当日、スクリーンに投影して発表されたい場合は、ノートPCをご持参ください（iPadの場合は、HDMI変換アダプタもご持参ください）。また、学内のネットワークはご利用いただけませんので、インターネットへ接続をされたい場合は、モバイルルーターもご持参ください。

※当日は、グループ分けのため、お名前・ご所属・ご発表タイトルを記入したリストを作成・共有する予定です。ペンネーム使用・ご所属の匿名化（例、京大花子・公立小学校）の形でのご記載をご希望の場合は、お申込みフォームの要望欄にその旨ご記入ください。

※午後のパネルディスカッションのみにご参加希望の方は、別途開設しているパネルディスカッション専用お申込みフォームよりお申込みください。【申込締切】3月9日（月） 但し、定員になり次第、締め切ります。詳細は、パネルディスカッションのチラシをご覧ください。



実践交流会の様子
（2025年3月）

お問い合わせ先：

京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

e-mail: e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

（電話でのお問い合わせには対応しておりません。ご了承ください。）

実践交流会は、参加者の皆さまに現在取り組んでおられる実践についての簡単な資料をご用意いただき、お互いの経験を交流することを通して、明日の実践づくりに役立つ知見を得ることを目的とする会です。

<タイムスケジュール>

第21回 実践交流会	
9:30-10:00	受付 場所:本部構内 総合研究2号館 第1講義室
10:00-10:30	オープニング(グループ分け、参加者自己紹介) 会場:本部構内 総合研究2号館 第1講義室 司会:石井 英真(京都大学大学院教育学研究科・准教授) 奥村 好美(京都大学大学院教育学研究科・准教授)
10:30-13:00	実践交流タイム 会場:本部構内 総合研究2号館 演習室(地下) ※実践成果/実践計画の報告(15~20分)に必要な資料(A4判かA3判のもの)をご用意ください。3月5日(木)までに原版をお送りいただければ、E.FORUM事務局で印刷いたします(その場合、A4判8頁以内、またはA3判4頁以内でお願いいたします)。 ※直接ご持参いただける場合は、13部(グループ内配布用8部+スタッフ・事務局用5部)印刷してお持ちください(参加者全員への配付をご希望の場合は、事務局まで印刷部数をお問い合わせください。参加人数が確定する3月2日以降にお知らせいたします)。
13:00-14:00	休憩 ※ご希望の方には、お弁当(1,000円)を手配いたします。
13:30-14:00	パネルディスカッション受付 場所:北部構内 北部総合教育研究棟1階 益川ホール
14:00-16:00	パネルディスカッション 「探究の軌跡を可視化する——デジタル・ポートフォリオの可能性」 会場:北部構内 北部総合教育研究棟1階 益川ホール



本研修会は、内閣府によるSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)の課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」における研究開発「真正で探究的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発」(研究開発責任者:松下佳代)の一環として開催いたします。